

岡山県医師会健康スポーツ医学再研修会

日時:令和6年3月9日(土)18:00~20:00

場所:岡山県医師会館 4階 401会議室(岡山市北区駅元町19-2)

申込方法:Google フォーム、またはFAX(方法については下記参照)

(お申し込み後、受講整理券の郵送等はありませんので当日ご来場ください。)

講演Ⅰ(18:00~19:00)

「運動耐容能と心機能」

講師:竜操整形外科病院内科部長 林田 晃寛 先生

- 運動耐容能は最大酸素摂取量で規定される。
- 最大酸素摂取量 = 心拍出量×(動脈血酸素飽和度 - 混合静脈血酸素飽和度)であり、これをフィックの法則という。
- 心拍出量 = 一回拍出量×心拍数である。
- 心臓の観点からすると、理論的には一回拍出量が最大であり、最大の心拍数となる時点が最も多くの心拍出量が稼げる。
- 健常人では、一回拍出量が低下する程の心拍数に到達することはほぼないが、心機能低下(拡張能低下)ではある程度の心拍数で一回拍出量が低下するポイントがある。それは心拍数が速くなり、心臓が十分拡張できなくなるからである。
- 心不全では、運動に伴う心拍出量上昇には限界があるので、運動耐容能を上げるには心臓リハビリが重要になる。

講演Ⅱ(19:00~20:00)

「上肢スポーツ障害アップデート」

講師:光生病院副院長 島村 安則 先生

近年、幅広い年齢層が様々なスポーツを楽しむようになり、日常生活レベルでは大きな問題にならないような障害を抱える患者さんも多く見受けられる。私は専門とする上肢スポーツ障害において、選手の状況に応じた治療、例えば injured athlete を最速で現場に戻すことや、痛みを抑えながら競技を続行させるといった方針を念頭においている。本日はスポーツ選手に生じた上肢障害の治療経験を症例提示しながら述べたい。

申込方法①: Google フォームによるお申込

URL または二次元コードへアクセスし必要事項をご入力の上送信してください。

申込URL: <https://forms.gle/BVSUdcmk3VSS4mT37>



申込方法②: FAX によるお申込

下記「参加申込書」をFAXしてください。

※日医認定健康スポーツ医:2単位(講演Ⅰ:1単位、講演Ⅱ:1単位)

※日医生涯教育制度:2単位 講演Ⅰ[CC43]動悸、講演Ⅱ[CC59]背部痛

※やむを得ず「中止」または「延期」とさせていただく場合がございます。開催の有無につきましては、岡山県医師会ホームページにてご確認ください。

<岡山県医師会健康スポーツ医学再研修会>「参加申込書」

FAX 086-251-6622 (岡山県医師会)

日時:令和6年3月9日(土)18:00~20:00

お名前	
ご所属等	
電話番号	